



## とうきょう かんとうだいじしん じしん お ひがいで 東京で関東大地震ぐらいの地震が起こったら、どのぐらいの被害が出るの

### かんとうだいじしん まんにんいじょう な 関東大地震で、14万人以上が亡くなった

1923年に起こった、関東大地震（関東大震災）では、目立った地震の前ぶれは、ありませんでしたが、この地震が起こる前の2年間に、南関東で地震が4回あり、小さな被害が出ていました。

関東大地震では、東京を中心とする南関東で、14万人以上が亡くなり、25万むね以上の家がこわれ、44万むね以上が、火事で焼けました。この被害は、日本の歴史の中でも、最も大きな被害です。

### かんとうだいじしんいじょう ひがい よそう 関東大地震以上の被害が予想される

関東大地震と、同じぐらいの地震が起こったときに、どのぐらいの被害が出るかについては、1988年に国土庁が、被害予想を発表しています。もしこの地震が、秋の土曜日の正午ごろに起こり、天気は晴れ、南の風10メートル、湿度80パーセント、最大の震度（ゆれの大きさ）が7のとき、地震による被害を、次のように予想しています。

木造建物大破（家が完全につぶれるか、それに近いこわれ方） 34万1000むね  
建物焼失（家が火事で焼けること） 25万7000むね

死者 15万2000人

負傷者 20万5000人

この数字を見ても、ものすごい被害ですが、被害の程度は、このぐらいではおさまらない、と考える人もいます。実際に地震が起こって見ないと、どのぐらいの被害になるかわかりません。また、ライフラインとよばれる、電気、水道、ガス、そして電話などの通信がとたえ、人々の生活にたいへんな影響をあたえます。（監修・国司 真）

